

米国学術研究の動向

国立科学財団(NSF)が FY2012の予算要求案を発表

2月14日、国立科学財団(NSF)は、2012年度(FY2012、2011年10月1日～2012年9月30日)の予算要求案を発表した。予算総額では、FY2010(約68億7200万ドル)と比較して約13%増の約77億6700万ドルを計上している。

NSF長官のDr. Subra Sureshは、この予算案は、NSFの以下の3大NSF戦略プランに沿ったものであると言及：

1. 教育と研究の境界に変化を与える

(to transform the frontiers of research and education)

2. 基礎研究と国家課題の連携にイノベーションを起こす

(to innovate for society by linking fundamental research to national challenges)

3. ますます学際化が進む科学・工学領域に機関モデルを示す

(to perform as a model organization within the increasingly interdisciplinary nature of modern science and engineering)

この3大プランを達成するため、FY2012の予算では次のようなプランが要求されている。

- ① 6000万ドルを教員養成事業等の新たな理数(Science, Technology, Engineering and Mathematics, STEM)教育の強化のプログラムに配分
- ② 1200万ドルを学際的研究に配分
- ③ 5億7700万ドルをクリーンエネルギーの研究及び教育プログラムに配分
- ④ 7600万ドルをBioMaPSや生物学、数学及び物理学の橋渡しとなる研究に配分
- ⑤ 9億9800万ドルを持続可能な科学・工学・教育プログラム("Science, Engineering and Education for Sustainability, SEES")に配分
- ⑥ 5億7600万ドルを未来のクリーンエネルギーとエネルギー効率の研究に配分
- ⑦ 1億1700万ドルを"21st Century Science and Engineering, CIF21"といったサイバー・インフラ研究に配分
- ⑧ 3000万ドルを"National Robotics Initiative, NRI"プログラムという、NASA、NIH及び農務省との新規共同プログラムに配分

なお、国立科学財団(NSF)のFY2012予算案は政府全体の研究経費の21%、NIHが扱う医学研究を除くと61%を助成することになる。

大統領予算案ウェブサイト

<http://www.whitehouse.gov/omb/budget/Overview/>

国立科学財団(NSF)ウェブサイト

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=118642&org=NSF&from=news

(日本学術振興会 ワシントン研究連絡センター)